



みみぷくだより

令和6年7月19日発行
第2号

第2号のみみぷくだよりでは、一学期の地域支援センターの取り組みをご紹介します。

教育相談関係

○教育相談

きこえやことばに関する個別相談では、乳幼児から、地域の幼稚園や保育園、小・中学校に通うお子さんまで、幅広い年齢のお子さんと保護者さんに来校いただいております。4月以降、新規のお子さんも含め延べ75件の相談がありました。また、福島校に通う幼児児童やその保護者からの教育相談も複数ありました。今後も、本人・保護者さんの思いに寄り添いながら、お子さん一人一人への継続した丁寧な相談、支援に努めていきたいと思っております。

○みみちゃん教室（集団活動）

月1回、相談に来校される親子を対象に、季節の遊びやテーマに沿った集団活動を実施しています。

5・6月は『しんぶんあそび』、7月は『水あそび』を行い、親子でたくさん遊んでいます。子ども同士のかかわりも増えてきたこの頃です。



○みみらんど in 相双（サテライト教育相談）

昨年度に引き続き、相双地区でのサテライト教育相談を実施しました。今年度も、相馬支援学校の地域支援センターをお借りしての実施です。今後は、11月、2月にも予定しています。本校の専門性を生かし、地域や相談者のニーズに応じた支援の充実に努めていきたいと思っております。



出かける支援

聴覚障がいのあるお子さんたちが在籍する保育所、小学校等への訪問を行い、お子さんへの支援の方法を検討したり、各担当の先生方からの質問にお答えしたりしました。また、大学や中学校に出掛け、補聴器体験や聴覚障がい教育についての理解・啓発を図りました。



【福島大学での講義】



【補聴器体験をする中学生】



【中学校への出前授業】

みみらんどセミナー

第1回みみらんどセミナーを、5月17日（金）に実施しました。福島県総合療育センター言語聴覚士の山田奈保子氏をお迎えし、「はじめの一步～聞こえにくい子の理解のために～」という演題で、耳の構造ときこえのしくみについて説明していただいたり、難聴のきこえの疑似体験や実際に補聴器の聞こえの体験をしたりしました。また、療育についてのお話も伺い、意味のある語り掛けが子どもの発話数との相関が高いというデータから、より多く話し掛けることの意義について学ぶことができました。参加された医療・保健・福祉・教育関係者の皆さんから、「学びが多く有意義な時間となった。」との感想を多数いただきました。



第2回みみらんどセミナーは、9月2日（月）に、聴導犬ユーザーを講師としてお迎えする予定です。聴導犬を身近に感じることでできる貴重な機会となると思います。皆さんの参加をお待ちしております。詳細は、学校ホームページをご覧ください。

みみらく学習会

福島校や教育相談の保護者を対象に、みみらく学習会を実施しています。一学期は、3回実施しました。

【第1回：4月19日（金）】

『聞こえにくさを体験しよう』

デマント・ジャパン株式会社より2名の講師をお招きして、聞こえにくいとはどういうことなのかを体験を通して学びました。



【聞こえにくさについての学習会】



【VRによるきこえの疑似体験】

【第2回：6月14日（金）】

『本校の進路指導と、進路決定に向けて』

郡山の本校の進路指導主事の先生から、「高等部卒業後の進路」や「進路決定のために小学部段階で必要なこと」「最近の障がいに対する社会情勢」等についてのお話を伺いました。



【将来の進路に向けての講話】

【第3回：7月8日（月）】

『お話サロン 教えて！！松本先生！！』

聴覚障害者教育福祉協会 専務理事（元筑波大学教授）の松本末男先生をお招きして、保護者や教育相談保護者との個別相談会を実施しました。



連絡先 福島県立聴覚支援学校 福島校

地域支援センター 「みみらんど ふくしま」

TEL&FAX 024(531)5013

アドレス <https://fukushima-sd-fukushima.fcs.ed.jp>

